

耳型の印象採取に関するご案内

安全で正確な耳型印象取得のために

オーダーメイドイヤホン(カスタムイヤーマニター)は、外部音環境の遮蔽によるS/N比較善、これによる再生音圧の抑制(聴覚保護)、耳への安定した装用と快適なフィット感を得るため、個人の耳型を採取し製作を行います。

耳穴の印象採取においては、ケーブル取り回しや各部品配置の関係上、通常の耳穴式補聴器(カナル型)に対し、外側方向にもう少し広い印象取得エリアが必要となります。

下記にあげた印象取得不可、カスタムイヤーマニター不適のケースを確認し、耳穴状態を確認の上、耳型印象採取を行います。

印象の外耳道長は通常補聴器/イヤーマニター製作のために行われる印象取得と同様、第二カーブ先2mm程度までとなりますが、耳穴の形状や状態によっては、印象取得における安全性を優先し、これより前に設定してください。

印象材の耳穴内残留圧力緩和のため、印象材注入直後に開口運動、開口状態であごの左右への運動を行ってください。

以下の場合には印象取得において安全確保に問題がある、またはカスタムイヤーマニターの適用が不適切となるため、耳型採取が出来ません。

- 過去に耳の手術を受けたことがある。
- 現在耳の治療を受けている。
- 中耳炎などで耳漏がある。
- 外耳道に湿疹、痛みまたは不快感がある。
- 耳垢が多く、印象採取の妨げになる。
- 左右いずれかの耳に聴力低下がある。
- 突発性または進行性の聴力低下がある。
- 急性または慢性のめまいがある。
- 50/1kHz/2kHz聴力に20db以上の気骨導差がある。

カスタムイヤーマニターの製作において、構成部品の組み込み、配置を行う上で、耳穴形状やサイズによっては製作が出来ない、ご希望機種への適応が不可となる場合がございます。

また耳型が採取出来ない場合には、カスタムイヤーマニターを製作することが出来ません。カスタムイヤーマニター製作/印象採取の可否は、各個人の耳穴形状、耳の状態により判断されるため、印象採取のお断り、印象採取後の製作不可判断など、ご希望に添うことが出来ないことがあります。

安全を確保し、正しく機能する製品を製作するためにご了承くださいませよう宜しくお願いします。

